

地域とともに育む、認知症にやさしい未来 ～グループホーム5事業所が地域啓発活動に協力～

スタートケアサービス株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：吉井はるか）が江東区内で運営するグループホーム「きらら」の5事業所（木場公園、南砂町、東大島、南砂元八幡、亀戸）は、江東区主催の「認知症サポーター養成講座（小学生向け）」に講師として参加いたしました。

本講座は令和8年8月5日（水）に江東区文化センターで開催され、江東区在住の小学生（全学年対象）とその保護者約34名が参加しました。当日は、劇やアニメを活用しながら認知症について楽しく学べる内容で実施され、子どもたちは認知症の症状や認知症の方への接し方について理解を深めました。

認知症サポーター養成講座は、認知症について正しく理解し、認知症の方やそのご家族を地域で温かく見守り支える「認知症サポーター」を養成する取り組みです。参加した職員は、子どもたちのグループワークのサポートや劇への出演を担当し、認知症の方への接し方や思いやりの大切さを伝えました。参加した子どもたちは熱心に耳を傾け、地域で支え合う意識を育む機会となりました。この講座は毎年開催されており、当社事業所も継続して参加しています。

スタートケアサービスでは、介護サービスの提供だけでなく、地域の皆さまとともに支え合う地域づくりを大切にしています。今回の講座を通じて、子どもたちに認知症への理解や思いやりの心が育まれることは、誰もが安心して暮らせる地域の未来につながるものと考えています。これからも地域に根差した事業者として、人と人とのつながりを大切にしながら地域社会の一員として地域の皆様とともに歩み、安心して暮らし続けられるまちづくりに貢献してまいります。

参加した管理者の声

認知症について理解しようとする姿を見て、私自身も江東区の一員として、これからも少しでも地域に貢献できるよう取り組んでいこうと思いました。

認知症について積極的に学ぶ子どもたちや保護者の多さに感銘を受け、地域貢献のやりがいを実感しました。今後も地域に貢献していきたいと感じました。



< 本件に関するお問い合わせ先 > スタートケアサービス株式会社 広報：池原

TEL：03-6880-3256（直） FAX：03-6880-3261（9:00～18:00、水・土曜不定休／日・祝定休）